

平成 30 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

- 1 管理体制
- 2 運営および経営の取組
- 3 動物の飼育管理
- 4 施設等の維持管理
- 5 管理運営経費

平成30年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

1 管理体制	1
(1) 動物園等の管理体制	1
(2) 人材育成	1
(3) 緊急・災害時の対応	4
2 運営および経営の取組	6
(1) 目標達成状況	6
(2) 集客対策	8
(3) 管理の質・来園者サービスの向上の取組	18
(4) 教育普及	20
(5) 自主事業等の取組	23
(6) 自己評価	28
3 動物の飼育管理	29
(1) 動物の飼育計画	29
(2) 動物舎および展示場の管理	29
(3) 動物の繁殖計画	30
(4) 動物の獣医学的衛生管理	31
(5) 野生動物の保護	31
(6) 調査・研究	32
4 施設等の維持管理	36
(1) 施設管理の基本事項	36
(2) 施設および設備の維持管理	37
(3) 園地および遊具等の維持管理	37
(4) 施設および設備等の安全対策	37
5 管理運営経費	40

□ 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル 2 階 (本部)
代表者	理事長 上原 啓史
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 38 年 3 月 31 日 (よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園)

□ 施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園 (動物園を除く)		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1 (こども自然公園内)	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東 5-15-1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園 (動物園を除く)		

□ 動物点数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

よこはま動物園	101 種 718 点
野毛山動物園	93 種 2,459 点
万騎が原ちびっこ動物園	3 種 276 点
小計	93 種 2,735 点
金沢動物園	46 種 483 点
合計	201 種 3,936 点

□ 入園者数 (単位：人、カッコ内は前年度比%)

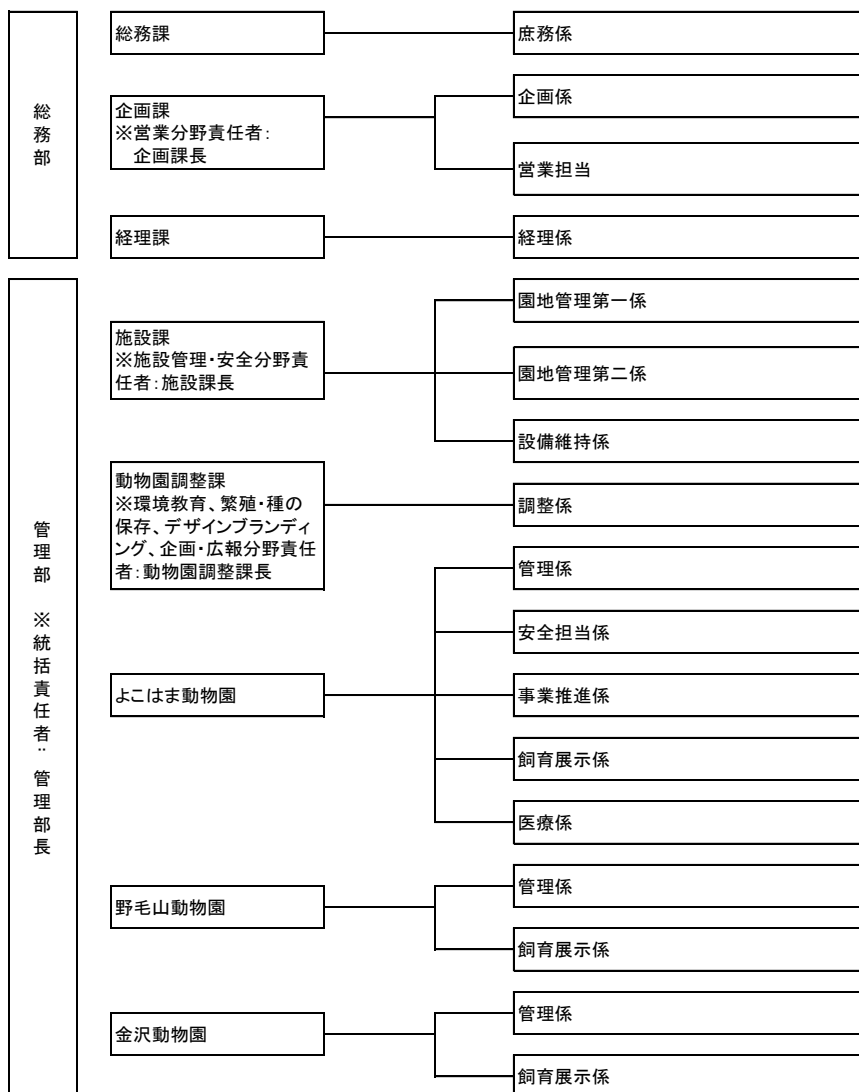
年度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
11	2,246,476 (-)	354,504 (75.7%)	133,355 (113.2%)	399,049 (65.8%)	3,133,384 (-)
12	1,336,842 (59.5%)	374,400 (105.6%)	126,780 (95.1%)	283,051 (70.5%)	2,121,073 (67.7%)
13	1,267,011 (94.8%)	509,514 (136.1%)	143,070 (112.8%)	286,170 (101.1%)	2,205,765 (104.0%)
14	1,066,189 (84.1%)	474,984 (93.2%)	126,192 (88.2%)	268,841 (93.9%)	1,936,206 (87.8%)
15	1,059,479 (99.4%)	531,661 (111.9%)	158,962 (126.0%)	271,463 (101.0%)	2,021,565 (104.4%)
16	959,749 (90.6%)	449,658 (84.6%)	185,484 (116.7%)	264,134 (97.3%)	1,859,025 (92.0%)
17	1,014,329 (105.7%)	497,875 (110.7%)	172,911 (93.2%)	288,524 (109.2%)	1,973,639 (106.2%)
18	1,044,563 (103.0%)	542,537 (109.0%)	157,654 (91.2%)	310,237 (107.5%)	2,054,991 (104.1%)
19	1,107,583 (106.0%)	547,461 (100.9%)	131,037 (83.1%)	301,503 (97.2%)	2,087,584 (101.6%)
20	1,153,756 (104.2%)	577,807 (105.5%)	134,547 (102.7%)	330,496 (109.6%)	2,196,606 (105.2%)
21	1,221,868 (105.9%)	680,777 (117.8%)	140,678 (104.6%)	355,067 (107.4%)	2,398,390 (109.2%)
22	978,791 (80.1%)	659,759 (96.9%)	105,277 (81.8%)	316,843 (89.2%)	2,060,670 (85.9%)
23	959,231 (98.0%)	765,085 (115.9%)	128,577 (122.1%)	292,333 (92.2%)	2,145,226 (104.1%)
24	889,489 (92.7%)	992,464 (129.7%)	164,733 (128.1%)	279,980 (95.7%)	2,326,666 (108.4%)

25	920,787 (103.5%)	968,855 (97.6%)	174,078 (105.6%)	284,843 (101.7%)	2,348,563 (100.9%)
26	941,781 (102.2%)	1,012,000 (104.4%)	185,864 (106.7%)	285,459 (100.2%)	2,425,104 (103.2%)
27	1,216,132 (129.1%)	1,095,448 (108.2%)	138,266 (74.6%)	287,099 (100.6%)	2,736,945 (112.9%)
28	1,086,486 (89.3%)	844,401 (77.1%)	121,509 (87.9%)	305,858 (106.5%)	2,358,254 (86.2%)
29	1,149,654 (105.8%)	721,131 (85.4%)	126,563 (104.2%)	321,990 (105.3%)	2,319,338 (98.3%)
30	1,077,317 (93.7%)	638,518 (88.5%)	121,219 (95.8%)	299,098 (92.9%)	2,136,152 (92.1%)

1 管理体制

(1) 動物園等の管理体制

当団体は多くの都市公園を管理していることから、一元化することによってより効率的・効果的に遂行できる業務については、本部に統括部門を置いて執行しています。業務の円滑化を図るため、統括責任者の下に動物園調整部門を置き、動物園の現場には、高い専門性を発揮できるよう、責任者として課長職を、専門分野ごとの責任者として係長を配置し、各園の管理運営を行いました。



(2) 人材育成

動物園の中心的な役割を担う動物職、獣医職等の専門職の育成については、長期的に取り組むべき課題と位置付けています。階層別、分野別の研修を通じ、OJT（職場内訓練・教育・研修）およびOff-JT（職場外訓練・教育・研修）を組み合わせることで人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。

特に30年度においては、28年度から開始した栄養学研修を引き続き実施したことに加え、インバウンドをテーマとした外部研修に積極的に参加し、東京2020オリンピック開催に向け、外国人観光客向けサービスを担う人材育成にも取り組みました。

① 各種研修の実施

平成30年度に実施した研修は以下のとおりです。

【平成30年度 研修実施実績】

<基本研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
6月11・12・22・29、 7月13・20・23・31日	個人情報保護研修	全職員	3時間
6月11・12・22・29日、 7月13・20・23・31日	C S・接遇研修	全職員	3時間30分
8月1・28・29・31日	普通救命講習(AED含む)	新規採用職員、未受講者および前受講から3年経過した者	3時間
1月28・31日、 2月1日	管理職向けハラスメント研修	管理職	1時間30分
1月28・31日、 2月1日	管理職向けメンタルヘルスクエア研修	管理職	1時間30分
2月4・7・14日 ほか適宜	人権研修	全職員	1時間30分+適宜
2月26日	安全運転講習	業務上、車両を運転する職員のうち希望者	1時間30分
適宜(管理職から職員へ各所属にて実施)	職員向けメンタルヘルスクエア研修	全職員	適宜

<一般業務研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
6月19日	文書事務研修Ⅰ	新採用職員および希望者	1時間
6月19日、10月4日	経理事務研修Ⅰ、Ⅱ	新採用職員、希望者および事務に携わる者	2時間30分

<専門職研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
4月25日	工業用水技術研修	施設課職員	1時間
7月10日	電気安全講習	施設課職員	5時間
9月10日、10月19日、 12月6日、2月14日	インバウンド研修	関連部署職員	9時間
9月14日、10月10日	電気実務講習	施設課職員	5時間
9月27～29日	(公社)日本動物園水族館動物園技術者研究会	飼育展示係職員	15時間15分
10月25、26日	傷病鳥獣研修(油等汚染事故対策水鳥救護研修)	飼育展示係職員のうち希望者	5時間
1月15日	広報・広聴研修	全職員	2時間

1月21、22日	野生生物保護研修	飼育展示係職員	2時間30分
1月24、25日	(公社)日本動物園水族館動物園参加型研修会	教育普及担当職員	11時間
2月20日	(公社)日本動物園水族館協会技術者研修会	飼育展示係職員のうち希望者	6時間15分
3月19日	栄養学研修	飼育展示係職員	1時間30分

<階層別研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
4月2、23、27日、5月10日、7月2日	新採用職員研修	新採用職員	25時間30分
4月3日	新採用飼育・ガイド研修(よこはま動物園)	新採用よこはま動物園飼育展示係職員	3時間
1月28、31、2月1日	係長職研修	係長職	4時間

② 資格取得の奨励

以下の通り業務上必要とされる資格取得の奨励を行いました。

【平成30年度 資格取得実績】

資格名	人数
飼育技師	10(よこはま4、野毛山5、金沢1)
学芸員	1(野毛山)
フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	1(よこはま)
大径木伐木等(チェーンソー等)特別教育	8(よこはま7、野毛山1)
振動工具取扱作業従事者特別教育	7(よこはま)
刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	9(よこはま8、野毛山1)
丸のこ等取扱作業従事者安全衛生教育	1(野毛山)
玉掛け/小型移動式クレーン技能講習	1(野毛山)
アーク溶接特別教育	1(野毛山)
自由研削といしの取替え等特別教育	1(野毛山)
高所作業車運転技能講習	1(野毛山)
安全運転管理者	1(野毛山)
食品衛生責任者	1(野毛山)

③ その他

職員が安心して業務に取り組むことのできるよう、健康管理および職場環境の維持に取り組みました。

【平成 30 年度 健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
定期健康診断	7 月～12 月
予防接種（破傷風、B 型肝炎）	5 月～12 月
一般的な感染予防対策	適宜
安全衛生委員会（ズーラシア）	毎月 1 回
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜

（3）緊急・災害時の対応

各園にて緊急対応体制や緊急対応マニュアルの整備と適宜見直しを行い、定期的な訓練を行いました。

よこはま動物園では、旭消防署・旭消防団との合同訓練を行い、消防ポンプ訓練、水消火器訓練、避難誘導訓練等の実用的な訓練を実施しました。

野毛山動物園では、西消防署職員を迎えた消火訓練、応急担架作成訓練を実施したほか、地震による猛獣舎倒壊を想定し、着ぐるみのチンパンジーを逃亡動物と見立てた動物逃亡捕獲訓練を実践的に行いました。動物逃亡捕獲訓練では、来園者の誘導訓練とあわせ、発電機使用訓練、麻酔銃試射訓練も行いました。

金沢動物園では、震災で飼育動物が逸走したことを想定した動物逃亡捕獲の机上訓練を実施するとともに、捕獲道具の点検・確認、小型動物・鳥類の捕獲・保定訓練を行いました。また、災害時の来園者誘導訓練、消防訓練による消防設備の再確認、情報受伝達訓練等の災害時対応訓練を行いました。

【平成 30 年度 訓練実施実績】

< 情報受伝達訓練（当団体全体） >

実施日	9 月 18 日
実施場所	協会本部、よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園、その他当団体管理の各公園および駐車場
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、 約 3 0 0 名
訓練項目	情報受伝達訓練
訓練内容	午前 9 時に、横浜市域で震度 5 強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。動物園においては、職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査（職員・委託業者ともに無線にて）し、一般住民の避難受け入れ態勢の整備を指示し、動物園調整課に情報を集約した。また、各園ともに無線による被災状況の把握も実施した。各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

<防災訓練>

よこはま動物園

実施日	9月10日
実施場所	ころころ広場
参加人数	旭消防署員、旭消防団、横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、約40名
訓練項目	避難誘導訓練、体験訓練
訓練内容	様々な災害に備えて旭消防署の協力の下、職員による可搬式ポンプ操作訓練、水消火器による消火訓練、煙り体験を実施した。

野毛山動物園

実施日	10月9日
実施場所	管理事務所裏
参加人数	西消防署員、横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、16名
訓練項目	消火訓練および応急担架作成訓練
訓練内容	様々な災害に備えて西消防署の協力の下、職員による水消火器による消火訓練、状況に応じた負傷者の運び方を実践する応急担架作成訓練でを実施した。

金沢動物園

実施日	11月12、15日
実施場所	わくわく広場、金沢自然公園ののほな館裏
参加人数	金沢消防署 釜利谷出張所員、横浜市緑の協会職員 約20名、 委託業者スタッフ 約10名
訓練項目	初期消火体験訓練
訓練内容	金沢消防署 釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。 園内の防災設備の使用方法を学び、実際に消防ホースを格納庫から出し、消火栓とつなぎ、放水訓練を行った。併せて、水消火器による消火訓練も行った。

<動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	1月28日（金沢動物園）、2月4日（野毛山動物園）、2月5日（よこはま動物園）
実施場所	よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ
訓練項目	避難誘導訓練、逃亡動物の捕獲訓練等の実践訓練
訓練内容	横浜地域で大規模な地震が発生した想定の下で、避難誘導・動物逃亡捕獲訓練を実施。園内の被災状況を調査（職員・委託業者スタッフともに無線にて）し、園内にお客様がいないと想定しての誘導訓練、災害時に動物が逃亡したことを想定しての飼育動物捕獲訓練を実施した。各施設は「被害状況報告書」にて施設の損壊状況、負傷者の発生状況等を協会本部総務課へ報告した。

2 運営および経営の取組

(1) 目標達成状況

① 入園者数

平成30年度横浜市立動物園等の管理に関する年度実施協定書に定めた目標に対する実績は以下の通りでした。

よこはま動物園の入園者数は約108万人、野毛山動物園は約64万人、金沢動物園は約30万人、三園合計は約201万人となりました。全体で入園者数が減少した要因としては、夏の猛暑と台風、11月上旬および12月の天候不順による休日入園者数減が挙げられます。

野毛山動物園に関しては3月の入園者数が落ち込みました。野毛山動物園は例年花見客の多い野毛山動物園では桜の開花に入園者数が大きく左右され、30年度は開花後の気温が例年より低かったことから、花見目的の来園者が減少したためと考えられます。

猛暑となった8月は、昼間の入園者数は大きく減少しましたが、「よこはま夜の動物園」の広報に注力した結果、夜間の入園者数は三園あわせて前年度の約120%と増加しました。

園名	目標入園者数	30年度入園者数 (目標達成率)
よこはま動物園	1,250,000人	1,077,317人 (86.2%)
金沢動物園	330,000人	299,098人 (90.6%)
野毛山動物園	721,131人 (29年度入園者数)	638,518人 (88.5%)

② 種の保存（国際的な繁殖計画への参画・連携数）

国際的な繁殖計画への参画・連携数は、目標10種に対し、スマトラトラやセスジキノボリカンガルー、オカピ等9種について、参画・連携をしました。また、アラビアオリックス、ヤブイヌについて将来的な個体搬入に向けて調整を継続しました。

30年度の目標	キノボリカンガルー・レッサーパンダ等10種について、国際的な繁殖計画への参画・連携する。
取組概要	<p><参画した種></p> <ul style="list-style-type: none"> スマトラトラ (GSMP) : GSMP に沿って、No. 5♂×No. 8♀のペアリングを実施するも交尾に至らず。種別計画推進会議にて今後はNo. 5♂とNo. 4♀で繁殖に取り組む方針が示されたため、繁殖スペース確保のため当園生まれの子No. 9, 11♂をBL契約により出園。 セスジキノボリカンガルー (GSMP) : GSMP に沿って、No. 10♀の発情にあわせNo. 11♂を同居し、交尾確認するも繁殖に至らず。 レッサーパンダ (GSMP) : 繁殖期にGSMP に沿って、No. 22♂×No. 19♀のペアリングを実施し、交尾確認するも繁殖には至らず。

	<ul style="list-style-type: none"> オカピ (SSP) : SSP の方針に沿ってアメリカから♂の個体導入を図ったが、輸送中に移動個体が負傷し、輸送が中止となった。アメリカからの代替個体の導入について調整を継続。5月22日によこはま動物園から金沢動物園へ♂個体の移動完了。 <p><連携した種></p> <ul style="list-style-type: none"> ヘサキリクガメ: 国際血統登録者と協力して遺伝子解析を実施するにあたり、血液サンプルを輸出する予定であったが、輸出が困難であることが判明したため、国際血統登録者が保管する血液サンプルを輸入し、横浜市繁殖センターの協力を得て遺伝子解析を行い、得られたデータを国際血統登録者と共有することとし、血液サンプル輸入に向けて国際血統登録者を通じて英国政府機関および関係省庁との調整、事務手続等を実施。 インドライオン: 国際血統登録者へ飼育報告書を送付。インドール動物園 (インド) からの♀個体導入について調整を進めていたが、書類の到着が途絶えたため断念。新たにネール動物園 (インド) から♀個体導入について調整を開始 コアラ (アンバサダー契約) : アンバサダー契約の下、国内の繁殖計画に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告等をする等関係機関と調整を実施。 テングザル (保護協定) : 年次飼育報告書をインドネシア政府へ送付。No. 3♂×No. 1♀のペアリングを実施し、1月15日に子No. 9♂が誕生したためインドネシア政府に報告。また、契約更新についてインドネシア政府と調整を継続 ウンピョウ: 国内種別計画管理者としてEEPへ飼育報告を行うとともに、繁殖に向けた取り組みとして人工繁殖の取り組みについて報告を行った。 <p><継続して調整中の種></p> <ul style="list-style-type: none"> アラビアオリックス: 新規♀個体の導入に向けて、アメリカから輸入する上での衛生条件について調整した。 ヤブイヌ: EEP調整者と個体の選定を行い、イギリスから2頭、フランスとガイアナからの2頭の導入が決まり、イギリスの動物園とは契約締結が完了し31年度初頭に英カークリーホール動物園より♂1頭導入予定。
--	---

③ 環境教育

環境教育プログラムの改善については、目標3件に対し、5件を改善しました。

30年度の目標	学校等の団体に26種の環境教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を3件以上行うこととする。
取組概要	<p>学校等の団体に30種の環境教育プログラムを実施 (P. 21参照) し、以下のとおり、プログラムの改善を5件行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミニレクチャー「観察のススメ」(よこはま) (改善) ※3種に分けて改題: ミニレクチャー「観察のススメ」について、園内観察の着眼点をより分かりやすく提案することを目的として、動物の特徴にスポットをあてた「しっぽの使い方」「オスとメスの違い」「色々な赤ちゃん」の3つのプログラムに分割しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張プログラム「どうぶつの赤ちゃん」(野毛山)(改善): 聞き手となる子どもたちが説明の中で示される動物をより具体的に想像しやすく、またそれぞれの違いを比較しやすくなることを目的として、「草食動物」「肉食動物」「げっ歯類の仲間」の画像の追加、差替えを行いました。 ・ どうぶつ園のじゅうい(金沢)(改善): より充実した体験時間を提供することを目的として、実施時間を10分延長し、一人あたりの体験時間を延長させるよう改善した。また、貸し出す聴診器の数も増加させ、解説についても充実を図りました。 ・ 動物のほねときん肉(金沢)(改善): より充実した体験時間を提供することを目的として、実施時間を10分延長し、一人あたりの体験時間を延長させるよう改善した。また、動物の体の仕組みを理解しやすくなるよう、解説と体験についても充実を図りました。 ・ 職業体験(金沢)(改善): 体験日の選択肢を増加させることを目的として、実施日を火・木曜日(週2回)から平日(休園日を除く、週4日)に変更しました。 ・ その他(金沢): 平成30年度は金沢動物園の環境教育プログラムであったプログラムを「連携授業」とし、選択できるメニューを2件追加しました(「動物図鑑を作ろう」、「タケノコ掘り・ウメの実狩り体験」)。
--	---

(2) 集客対策

① 主要な取組

ア 里山ガーデンフェスタとの連携(継続・拡充)

よこはま動物園では、隣接地区で開催した里山ガーデンフェスタとの連携に取り組みました。入園口において里山ガーデンをPRする花壇装飾を行うほか、動物園のイベントポスター内での里山ガーデンの紹介、パンフレットを制作する等広報における連携を実施したほか、里山ガーデンにて実施の「重ね押しスタンプラリー」参加者に対して平日の入園料を5割引するサービスの提供、里山ガーデン内でのバードショーの実施、ズーラシア20周年をPRするパネル展示等、イベントにおける連携も行いました。

イ 金沢動物園における展示動物の充実(新規・拡充)

平成31年の干支がイノシシであることから、傷病保護個体として保護された後、園内にて飼育していたオスのニホンイノシシについて、既存の獣舎を改修し、新年のタイミングに合わせて展示を開始しました。展示にあたってはイノシシの動物をかたどったパネルを使った写真撮影スポットも設置する等のイベントもあわせて行いました。

平成27年度より解説した「身近ないきもの館」では、平成30年度に新たにトウキョウダルマガエルや、神奈川県では三浦半島にのみ自然分布し、開発等の影響で生息数が減っているトウキョウサンショウウオ、横浜市では金沢区に1か所のみ生息が確認されているアカハライモリ等の両生類を中心に導入しました。その成長や季節ごとの変化については、公式ブログを開設し、紹介しています。

また、昨年より展示を開始したカピバラについては、好評を博した約40℃のお湯を打たせ湯にする「カピバラのほんわか打たせ湯」を継続して実施し、その様子を

冬のポスターの図案としても採用することで、金沢動物園の新たな人気動物としてPRしました。

② 企業等と連携したキャンペーン

ア KDDI 株式会社 (au) との連携 (新規・継続)

三園での新たな取組として、KDDI 株式会社の携帯電話事業と株式会社博報堂が共同で制作するスマートフォンアプリ「one zoo」への参画を行いました。2月には有料コンテンツの提供も開始し、アプリ内で限定の動画や画像を提供することで三園への興味を高めてもらうほか、デジタルスタンプラリーや音声ガイドの提供により来園促進効果を狙ったものです。また、KDDI との連携としては、引き続き、よこはま動物園と金沢動物園において、「au スマートパスプレミアム」に加入しているユーザーを対象に、入園料が無料となるキャンペーンを毎週日曜日に実施しました(利用者数：よこはま 7,626 名、金沢 1,744 名)。

イ コクヨ株式会社との連携 (新規)

文具・事務用品等を販売するコクヨ株式会社と連携し、当団体および三園が監修した書籍「おえかきずかん」を発売しました。三園で飼育・展示している 38 種の動物の特徴を紹介するとともに、動物の描き方を紹介するもので、イラストは、野毛山動物園の看板やサインを手掛けているデザイナーの手によるものです。発売開始時には、31 年度によこはま動物園が開園 20 周年を迎えることを記念し、購入された方の中から抽選で合計 100 名様に、オリジナルトートバック、ガイドブック、招待券いずれかが当たるキャンペーンを実施しました。

ウ 商業施設との連携 (新規・拡充)

当団体と継続的な連携関係にある株式会社高島屋との連携では、横浜タカシマヤにおいて動物園の PR イベントを実施しました。7 月には 1 階正面口にて獣医の仕事体験できるコーナーを設置するとともに「よこはま夜の動物園」の PR を実施しました。また、新年の初売りの際には、「よこはま動物園ズーラシア福袋」として、干支にちなんだアカカワイノシシのエサやり体験、オカピやライオン等のバックヤード見学等ができる福袋を販売しました。

また、新たな取組として、株式会社東急ハンズとの連携を実施しました。東急ハンズ新宿店において、年末年始の時期にあわせて「開ウン！大うんこ展」と題し、よこはま動物園で飼育する動物たちの糞の標本の展示、糞を通じて動物の生態について学ぶことのできるパネル展を行うとともに、通常はよこはま動物園内のショップで取り扱っているグッズの販売を実施しました。

エ 野毛山動物園における取組 (新規・継続)

野毛山動物園では、新たな取組として、動物園の近隣に位置する WINS 横浜との連携として、WINS 横浜を運営する JRA (日本中央競馬会) のマスコットキャラクターである「ターフィー」および「ハローキティ」の着ぐるみによるグリーティングとノベルティグッズ配布を行い、地域全体としてのにぎわいの創出と来園者サービスを図りました。

また、継続的な取組として、神奈川県共同募金会と連携し、園内で飼育する動物を共同募金 PR 大使として任命するイベントを実施しました。30 年度はスマトラトラ「ミンピ」が大使に就任し、募金時に提供するピンバッジのモデルとなったほか、園内にて就任式と報告会のイベントを実施しました。

③ 広報

ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については以下のとおりでした。

ホームページのイベント特設サイトや新規インターネット広告等、インターネットの活用特に力を入れて広報活動を実施したところ、「よこはま夜の動物園」において実施した来園者アンケートの調査のうち「イベントを知ったきっかけ」の回答のうち、ホームページが 22%、インターネットが 15%と高い割合を占め、インターネットによる広報活動の効果が顕著に見られました。

種別	媒体	30 年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、 ホームページ等 (P. 10 参照)	目標	ポスター制作：5 回 (29 年度と同等) ホームページイベント特設サイト制作：2 回
		実績	ポスター制作：5 回 ホームページイベント特設サイト制作：2 回
間接 広報	記者発表、雑誌、市・ 区広報紙、web (P. 14 参照)	目標	メディア掲載件数：960 件
		実績	メディア掲載件数：1527 件
広域 広報	高速道路 PA、イン ターネット広告での PR (P. 15 参照)	目標	2 回 (29 年度と同等) 新規直接広報媒体開拓：1 件
		実績	2 回 (29 年度と同等) 新規直接広報媒体開拓：1 件

イ 直接広報

(ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて多様な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。ポスター・看板類は、三園ともに市民利用施設、鉄道事業者、バス運行会社等に協力を依頼し、広く掲出しました。

【平成 30 年度 主な看板類掲出状況】

園名	掲出場所	時期
よこはま 動物園	横浜駅 (相鉄線)、鶴ヶ峰駅 (相鉄線)、三ツ境駅 (相鉄線)、 中山駅 (グリーンライン・JR)、日吉駅 (グリーンライン)、新 横浜駅 (ブルーライン)、横浜駅 (ブルーライン)、動物園入口 交差点に看板掲出	継続
野毛山 動物園	バナーフラッグ (動物園通り)、三園掲示板 (野毛山動物園前 バス停前の)、案内矢印 (中央図書館前)、ラッピングバス「ぶ らり野毛山動物園 BUS」	継続

金沢動物園	関東学院大学との共同バナーフラッグ（すずらん商店街）、外側大型看板（金沢文庫駅ホーム）、看板掲出（金沢文庫駅西口階段）、バナーフラッグ（ふれあい商店街）、ベンチ看板掲出（JR 洋光台駅ホーム）	継続
-------	--	----

ウ 各種広報印刷物（ポスター、チラシ、リーフレット等）の発行・配布
 観光施設や交通機関、公共機関、近隣施設等にリーフレットやイベントチラシを設置し、動物園の情報を積極的に発信しました。

よこはま動物園では、里山ガーデンフェスタと連携して作成したリーフレットを市内で広く配布し、里山ガーデンとあわせ来園を促進するよう取り組みました。

野毛山動物園では、飲食業協同組合や商店街等近隣地域の団体と連携し、各店舗でのポスターの掲出や「ナイトのげやま」チラシの配布等を行いました。

金沢動物園では、年間を通じて各イベントのPRチラシを、自治会町内会掲示板に掲出していただくとともに、区内商店街での季節のポスター掲出を行いました。さらに、1月上旬には、「かなざわバレンタイン・フェアトレード de チョコまつり」のチラシ約1万部を金沢区内の全小学校へ配布しました。

三園共通の取組としては、夏・冬・春のイベントチラシを発行し、市内の全小学校や幼稚園等へ配布するほか、引き続き、しながわ水族館との連携によりうちわを製作し、「よこはま夜の動物園」への広域的な誘客を図りました。

【平成30年度 広報印刷物】

<三園>

発行時期	内容
平成30年7月	夏のイベントチラシ A5版 657,075部
平成30年7月	よこはま夜の動物園 2018 うちわ 31,000枚
平成30年7月	よこはま夜の動物園 2018 ポスター B1版 405部、B3版 3,361部
平成30年12月	冬のイベントチラシ A5版 647,935部
平成31年3月	春のイベントチラシ B5版 646,775部

<よこはま動物園>

発行時期	内容
平成30年4月	ズーラシアマップ（日本語版）200,000部、春の里山ガーデンリーフレット 15,000部
平成30年6月	イベントガイド 夏号 40,000部
平成30年7月	夏イベントポスター B1版 335部・B3版 2,972部、夏イベントチラシ A4版 32,695部
平成30年8月	ナイトズーラシア専用マップ A4版 30,000部
平成30年9月	秋イベントポスター B1版 335部・B3版 2,973部、秋イベントチラシ A4版 32,845部 イベントガイド 秋号 60,000部、ズーラシアマップ（日本語版）300,000部、ズーラシアマップ（外国語版）5,000部、秋の里山ガーデンリーフレット 40,000部
平成30年12月	冬イベントポスター B1版 316部・B3版 2,973部、冬イベントチラシ A4版 32,975部、 イベントガイド 冬号 40,000部
平成31年3月	春イベントポスター B1版 262部・B3版 2,960部、春イベントチラシ A4版 34,195部 春イベントポスター（JR） B1版 170部、イベントガイド 春号 80,000部、春の里山ガーデンリーフレット 80,000部

<野毛山動物園>

発行時期	内容
平成 30 年 4 月	園内マップ 35,000 部、園外 PR 用パンフレット 10,000 部
平成 30 年 6 月	園内マップ 20,000 部、園内季刊紙ふおし〜ず〜ん 夏号 第 80 号 6,000 部、のげやまどうぶつえんだより 夏号 5,000 部
平成 30 年 7 月	ナイトのげやまイベントチラシ 8,000 部
平成 30 年 8 月	野毛山動物園秋イベントポスター B 1 版 220 部・B 3 版 1,470 部
平成 30 年 9 月	園内季刊紙ふおし〜ず〜ん 秋号 第 81 号 7,000 部
平成 30 年 10 月	園内マップ 20,000 部
平成 30 年 11 月	野毛山動物園冬イベントポスター B 1 版 220 部・B 3 版 1,471 部、園外 PR 用パンフレット 20,000 部、園内マップ 20,000 部
平成 30 年 12 月	園内季刊紙ふおし〜ず〜ん 冬号 第 82 号 6,000 部
平成 31 年 1 月	野毛山動物園春イベントポスター B 1 版 228 部・B 3 版 1,472 部、SOS 展・講演会ポスター B 2 版 50 部・A 4 版チラシ 1,000 部
平成 31 年 2 月	園内マップ 20,000 部、ふおし〜ず〜ん 第 83 号 6,000 部
平成 31 年 3 月	のげやまどうぶつえんだより 春号 5,000 部、園内季刊紙ふおし〜ず〜ん 春号 第 83 号 6,000 部

<金沢動物園>

発行時期	内容
平成 30 年 4 月	金沢動物園だより 4 月号 990 部、金沢動物園だより 5 月号 990 部
平成 30 年 5 月	金沢動物園だより 6 月号 990 部、園内英語マップ 5,000 部
平成 30 年 6 月	虫展チラシ A 4 版 6,500 部、虫展ポスター B 3 版 3,100 部、パパママ便利マップ A 4 版 1,000 部、園外 PR 用リーフレット 6,000 部
平成 30 年 7 月	金沢動物園だより 7 月号 1,190 部、虫展ポスター B 3 版 1,660 部、園内マップ 30,000 部
平成 30 年 8 月	金沢動物園だより 8 月号 990 部、金沢動物園だより 9 月号 990 部、秋ポスター B 1 版 225 部・B 3 版 1,350 部、ナイトチラシ A 4 版 5,000 部
平成 30 年 9 月	金沢動物園だより 10 月号 990 部、どうぶつえんの文化祭チラシ A 4 版 1,800 部、アニマルアートコラボ展ポスター A 1 版 20 部・チラシ A 4 版 700 部
平成 30 年 10 月	金沢動物園だより 10 月号 1,090 部、金沢動物園だより 11 月号 990 部
平成 30 年 11 月	金沢動物園だより 12 月号 990 部、冬ポスター B 1 版 216 部・B 3 版 1,420 部 初日の出チラシ A 4 版 2,000 部、園内マップ 15,000 部
平成 30 年 12 月	金沢動物園だより 1 月号 990 部
平成 31 年 1 月	金沢動物園だより 2 月号 990 部、バレンタインイベントチラシ A 5 版 10,000 部・A 4 版 1,800 部、園内マップ 28,000 部
平成 31 年 2 月	金沢動物園だより 3 月号 990 部、春ポスター B 1 版 220 部・B 3 版 7,374 部、春まつりイベントチラシ A 4 版 2,500 部
平成 31 年 3 月	金沢動物園だより 4 月号 990 部、春ポスター B 1 増版 160 部、園内マップ 50,000 部

エ 有料広告の出稿

イベント情報や施設情報について、より効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。

新規の取組として、インターネット情報サイト「いこーよ」において、6月より「よこはま夜の動物園」のPRを行った結果、情報を見た方が各動物園のホームページにアクセスしたことが確認され、効果的な情報発信を行うことができました。

【平成30年度 有料広告出稿実績】

園名	媒体名	内容
三園	横浜市学校給食基準献立予定表	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
	東京新聞	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
	足柄SAテーブルステッカー	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
	情報サイト「いこーよ」	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
よこはま動物園	産経新聞	20周年記念イベント情報
	情報サイト「はまれぼ」	施設情報
野毛山動物園	フリーペーパー「mirea」	飼育動物、ショップ商品の紹介等

オ ホームページ、SNSの活用

休園日、開園時間、交通アクセス、駐車場、レンタル制度、飼育動物、レストランやショップ等の基本情報のほか、動物やイベント開催、ブログ等の最新情報を発信しました。(アクセス件数:よこはま1,503,566件、野毛山553,622件、金沢410,837件)

ホームページ内に開設したブログにおいては、年間873件の記事を掲載し、動物の繁殖や飼育管理の工夫、各園の特徴を活かした環境教育の取組、イベント情報等を積極的にわかりやすく発信するよう取り組んだ結果、閲覧件数が前年度128%(1,152,346件)となりました。

このほか、SNS(Facebook、Twitter)、動画共有サイト(YouTube)を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報をタイムリーに発信し、興味や関心を持っていただけるようにしました。

【平成30年度 ホームページでの情報発信実績】

<三園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成28年7月～	三園の情報を発信するサイト

<よこはま動物園>

名称	時期	内容
20周年記念特設サイト(新規)	平成31年2月5日～	ズーラシア開園20周年記念イベント等を紹介
ズーラシア夜市特設サイト(新規)	平成30年7月10日～8月26日	ナイトズーラシア内のイベントを紹介
飼育日誌	平成19年4月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介

ブログ de ズーラシア	平成 19 年 5 月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成 21 年 3 月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成 26 年 9 月 8 日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成 26 年 11 月 1 日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ばかばか広場	平成 27 年 9 月 1 日～	ばかばか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介

<野毛山動物園>

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年 4 月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年 5 月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年 7 月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまとらいおん ～TRY ON～	平成 29 年 6 月～	トラとライオンの日々の様子を紹介

<金沢動物園>

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年 5 月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年 1 月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
今週の 1 枚	平成 19 年 4 月～ 平成 25 年 11 月末	職員がとらえた直近のトピックスについて、写真と短文で紹介(平成 20 年 9 月よりブログ化)
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
金沢動物園美術部	平成 29 年 8 月～	アニマルアートコラボ展に絡めた園内アート作品の紹介
ちっちゃないきものたち	平成 29 年 5 月～	身近な生きもの館の生きものや野生生物について紹介

カ 間接広報

(ア) プレスリリースによるパブリシティの活用

積極的・効果的なプレスリリースを行い、新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。

【平成 30 年度 発表・新聞掲載件数】

園名	掲載件数	発表件数
よこはま動物園	771	28
野毛山動物園	178	4
金沢動物園	557	20
三園または二園合同	21	22
計	1,527	74

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、三園とも、「広報よこはま」やタウン紙への情報発信を継続的に行いました。

(ウ) 広域広報

広域広報の取組としては、レジャーに自家用車を利用するファミリー層をターゲットとして、東名高速道路「足柄 SA」内のフードコートにポスターおよびテーブルステッカーによる「よこはま夜の動物園」広告の掲出を実施しました。また、東京圏や全国からの誘客を図るため、東京新聞に「よこはま夜の動物園」の広告を、産経新聞によこはま動物園 20 周年の広告を出稿しました。

また、新たな取組として、三園の広域的な広告・宣伝活動の強化を図るため、地域を限らず広くファミリー層をターゲットにしている WEB サイト「いこーよ」に「よこはま夜の動物園」広告の掲出を行いました。

キ その他の取組

(ア) 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に多数参加することで動物園の PR を積極的に行い、来園を促進するよう取り組みました。また、近隣のコミュニティーハウスや地区センター、地域子育て支援拠点に職員が出張し、レクチャー等を行うことで、より多くの方々に動物園へ足を運んでもらえるよう PR を行いました。

市の各区で催される区民まつりには各動物園がそれぞれの所在区、近隣区で行われたものに参加しました。よこはま動物園では、旭区、緑区、瀬谷区での区民まつりにおいて派生物の展示や解説、チラシ配布等の PR 活動を行いました。野毛山動物園では、西区民まつりにマスコット「かぐやま君」着ぐるみと派生物の展示で参加するほか、市選挙管理委員会による動物の人気投票の実施に協力しました。金沢動物園では、所在区である金沢区民まつり、近隣区である栄区民まつりに加え、戸塚区でのエコフェスタにも参加し、派生物やはく製の展示を通して、園の PR 活動を行いました。

各園の特色ある取組として、よこはま動物園では、テングザルやカンムリシロムクの飼育を通じて緊密な連携関係にあるインドネシア共和国の大使館が主催し、東京都の日比谷公園で行われた、日本とインドネシアの国交樹立 60 周年を記念するイベント「インドネシアフェスティバル」に参加するほか、藤沢市の湘南台文化センターこども館でのイベントに参加する等、広域に渡っての PR 活動に取り組

みました。野毛山動物園では、伊勢佐木町商店街で行われたエコ・イセザキへの参加、横浜市中心図書館等を巡回する環境パネル展やクイズラリーへの参加、にぎわい座との連携企画等、例年実施している地域連携によるPR活動を継続し、近隣地域・施設とのさらなる関係強化を図りました。金沢動物園では、所在区である金沢区における区制70周年記念事業への参加、健康ウォーキングへの協賛、金沢工場3R夢フェスタへの参加に加え、新たに金沢臨海部工業団地でもPR活動を行ったほか、前述の戸塚エコフェスタや、横浜市と横須賀市の横須賀集客促進実行委員会が主催したサイクルスタンプラリーにも参加し、より幅広い層・地域からの集客を目指したPRに努めました。

また、三園とも当団体が管理運営する指定管理公園と連携して、派生物や傷病鳥獣の展示等を行い、PR活動を実施しました。

【平成30年度 園外PR・地域連携活動実績】

<三園>

実施日	イベント名
4月13～15日	スプリングフェア
8月2日	サマーフェスティバル in 海ほたる
10月6日	よこはま国際フェスタ 2018
10月7日	昭和の秋まつり（群馬県昭和村）
10月6・7日	ワールドフェスタ
11月4日	新横浜パフォーマンス

<よこはま動物園>

実施日	イベント名
4月29日	四季の森公園まつり
6月24日	地域連携（湘南台文化センターこども館）
7月1日	海の環境を考える親子講座（海の公園）
7月28・29日	フェスティバルインドネシア
7月29日	地域連携（横浜タカシマヤ）
7月31日	地域連携（上白根地域ケアプラザ）
8月14日	地域連携（緑図書館（緑区役所））
8月8日	地域連携（夏休み親子下水道教室）
8月9日	地域連携（夏休み親子下水道教室）
8月20日	横浜市小学校国語教育研究会
10月20日	ふるさと港北ふれあいまつり
10月21日	旭ふれあい区民まつり
10月21日	緑区民まつり
10月21日	瀬谷フェスティバル
11月2日	こどものまち「ゆめゆめシティ」（こどもの国）
11月3日	中山まつり
11月11日	ふれあいまつり（鶴ヶ峰地域ケアプラザ）
12月1日	地域連携（上白根大池公園子どもログハウス）

12月2日	もみじ祭り（俣野別邸庭園）
12月8日	紙芝居おじさん&ズーラシア飼育員の出張講座（岸根公園）
1月20日	地域連携（はまぎんこども宇宙科学館）
1月27日	地域連携（はまぎんこども宇宙科学館）
2月3日	海の環境を考える親子講座（海の公園）
2月19日	地域連携（社会福祉法人開く会）
3月17日	緑区地域活動支援センター「みどり〜む」

<野毛山動物園>

実施日	イベント名
5月20日	神奈川県立青少年センター「子ども科学探検隊」
8月7日	地域連携（子育て支援拠点「かなーちえ」）
8月21日	横浜にぎわい座「動物ものまね講座」
8月21日～9月2日	西区役所、中央図書館連携事業「クマたちのふるさと」パネル展
7月18日～8月19日	西区役所、中央図書館連携事業「クマたちのふるさと」クイズラリー
8月15日	NPO法人ハマのJACK「野毛山動物園の謝肉祭」
8月17日	子どもアドベンチャー
10月9日	馬場花木園「出張動物園」
11月4日	西区民まつり
11月4日	エコ・イセザキ
11月19日	山手公園「出張動物園」
11月24日	野毛まちなかキャンパス
2月18日	清水ヶ丘公園「幼児用プログラム」

<金沢動物園>

実施日	イベント名
4月7日	シーサイドラインフェスタ
7月14日	海の公園海開き
8月1日	地域連携（並木北コミュニティハウス）
9月22日	神奈川県立青少年センター「子ども科学探検隊」
10月14日	金沢工場3R夢フェスタ2018
10月20日	第43回金沢まつりいきいきフェスタ
11月3日	栄区民まつり
11月10日	戸塚エコフェスタ
11月17日	金沢区健康ウォーキング
11月21日	地域連携（金沢区役所）
12月5日	地域連携（横浜南ロータリークラブ）
12月26日、1月5日	地域連携（並木コミュニティハウス）
1月20日	どんど焼き（海の公園）
3月1日～	サイクルスタンプラリー（横浜市・横須賀集客促進実行委員会）

(イ) 各種団体への誘致活動

毎年度末に横浜市内の全学校向けに、動物園利用に関する案内を配布するほか、各種福利厚生団体等との契約を締結し、来園促進を図っています。

【平成 30 年度 学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま動物園	団体数	440	354	42	70	906
	人数	36,115	39,053	912	1,574	77,654
野毛山動物園	団体数	273	264	5	3	545
	人数	23,041	24,100	193	165	47,499
万騎が原 ちびっこ動物園	団体数	89	59	0	0	148
	人数	5,197	5,567	0	0	10,764
金沢動物園	団体数	215	153	41	10	419
	人数	20,094	15,892	845	190	37,021
計	団体数	1,017	830	88	83	2,018
	人数	84,447	84,612	1,950	1,929	172,938

【平成 30 年度 契約・福利厚生団体入園実績】

名称	割引率	実施期間	よこはま	金沢
前売り券（相手方専用券：コンビニ）	1割引	通年	23,676	1,734
前売り券（ズーランシア券：ホテル等）	1割引	通年	17,678	-
計			41,354	1,734

【平成 30 年度 よこはま動物園福利厚生団体誘致状況】

名称	割引率	実施期間	人数(名)
新聞社（読売）	特殊契約	通年	4,843
福利厚生	2割引	通年	73,188
提携企業会員カード	2割引	通年	46,750
計			124,781

(3) 管理の質・来園者サービスの向上の取組

部門をまたぐ各種会議での情報共有や、利用者の意見を収集する制度を運用し、管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。利用者満足度（利用者調査アンケートにおいて、全体的な満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答された割合）は、よこはま動物園の満足度が 99.2%（29年度 98.5%）、野毛山動物園の満足度が 98.4%（29年度 99.1%）、金沢動物園の満足度が 97.9%（29年度 96.6%）でした。

① 各種会議での情報共有

よこはま動物園では、協会職員に加え、窓口案内や警備、清掃等の委託業者が出席する「業務の質向上委員会」を毎月実施し、各月の課題や対策の検討、お客様からのご意見の共有等を行いました。また、警備やバス運転手とのミーティングを毎朝実施

し、園内警備や園内バスの運行にあたって、来園者の安全・安心の確保を徹底するよう情報共有を行いました。

金沢動物園では券売窓口・警備等の委託業者に対し接遇研修を実施し、応対力の向上を図りました。また、ショップ・レストランの運営担当者と委託業者が出席する月次報告会を実施し、接遇態度についての改善や新商品についての検討を行い、サービスの向上に努めました。

野毛山動物園においても、金沢動物園同様にショップ・レストランの運営担当者と委託業者が出席する月次報告会を実施したほか、繁忙期前を中心に警備・案内の委託業者とミーティングを行い、混雑時の対応の確認を実施することにより園内の混乱を未然に防ぐよう取り組みました。

② 具体的な取組

環境に配慮した取組として、動物糞の堆肥化による活用や、園内で選定した枝等の再利用、ごみの分別、グリーンカーテン、照明の更新、節電・節水に努めました。

また、来園者の利便性の向上として、金沢動物園では便器の洋式化を5箇所、ベンチの修繕・更新を105箇所実施したほか、よこはま動物園では統一感を出すよう園内看板を改修しました。

③ お客様のご意見・ご要望を伺う制度

三園において利用者調査アンケートを11月に実施しました。サービスの向上につながる案件としてよこはま動物園では4件、野毛山動物園では2件、金沢動物園では4件を改善しました。

また、広聴は1年間でよこはま動物園では67件、野毛山動物園では15件、金沢動物園では14件のご意見・ご要望等が寄せられ、すべて2週間以内に回答しました(P.30 参照)。

【利用者調査アンケート結果にもとづく改善事項】

園名	内容
よこはま動物園	<ul style="list-style-type: none">・遊具そばにバス時刻表を掲示・園路の段差を修繕・展示場の改良・子ども向けイベントの強化
野毛山動物園	<ul style="list-style-type: none">・種名板の増設・看板の改修
金沢動物園	<ul style="list-style-type: none">・飲食施設の充実・トイレの洋式化・授乳室の改修・障害者用トイレの修繕

(4) 教育普及

三園が連携し、スケールメリットを活かした事業を行うとともに、よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。

① 環境教育プログラム

事前予約をした学校等の団体向けの環境プログラム（30種類）を行い、改善を5件行いました。（改善項目についてはP. 7を参照）

【平成30年度 環境教育プログラム】

<三園または二園>

プログラム名	概要	参加人数
動物園の獣医	獣医の一日を紹介	1,416（よこ） 720（野） 1,508（金）
動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	550（よこ） 239（金）
職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	145（よこ） 70（野） 84（金）
職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	53（よこ） 80（野）
職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	2（よこ） 21（野） 13（金）
動物園学習	要望に合わせ、学習プログラムを用意	107（よこ） 600（野） 1,001（金）
動物の赤ちゃん （出張プログラム）	動物たちの子育てやその違いについて解説	785（よこ） 936（野） 500（金）
飼育員の1日 （出張プログラム）	飼育員の1日の仕事を紹介	1,406（よこ） 1,132（野） 537（金）
動物たちにズームイン （出張プログラム）	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	323（よこ） 549（野） 299（金）
職業講話 （出張プログラム）	動物園スタッフが学校に出向いて、飼育員が行う仕事について解説	325（よこ） 590（野） 313（金）

<よこはま動物園>

プログラム名	概要	参加人数
飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介	31
なりきり獣医さん	獣医の仕事についてのお話と、獣医の仕事道具の聴診器等を用いた体験型プログラム	258
動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴等について解説	523
しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方の紹介（ミニレクチャーより改題・分割）	989
オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明（ミニレクチャーより改題・分割）	526
色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話（ミニレクチャーより改題・分割）	807
バックヤードツアー	ゾウの寝室と飼料庫（エサ置き場）に案内し、解説	2,727

<野毛山動物園>

プログラム名	概要	参加人数
かんさつ名人になろう！（出張プログラム）	専用のワークシートに書きこみながら、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法と観察方法を学ぶ	2,487

<金沢動物園>

プログラム名	概要	参加人数
動物のたんじょう	動物の誕生の仕組みを動物園での繁殖事例をもとに説明	331
動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	2,200
ツノにさわろう	実物の角に触れ、感触や重さを体験	2,601
コケコケぶーぶー	ブタやニワトリとふれあい、身近な家畜を学ぶ	3,425
キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	428
ぼぼちゃんと世界の動物たち	世界の動物の現状を学びながら国際理解を深める	0
クラス丸ごと動物園体験	クラス単位で金沢動物園・自然公園のすべての業務を分担して体験し、動物園の運営を学ぶ	233
動物ガイドになろう	動物園や野生動物について学び、「動物ガイド」として、園内で動物解説を実施	994
自然界のつり合い	食物をめぐる生物どうしのつながり、自然界の物質の循環や生物多様性について学ぶ	94
動物図鑑を作ろう	毎回課題の動物の解説を飼育員から聞き、写真資料等をそろえてオリジナル動物図鑑を作成する	261
タケノコ掘り・梅の実刈り体験	モウソウチクのタケノコ掘り体験や、ウメの実採集体験から、生物のつながりを学ぶ	25
動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについての解説	509

② 小動物ふれあいプログラム

野毛山動物園では、事前予約をした学校等の団体向けに、モルモット、ハツカネズミ、ニワトリとのふれあいプログラムを実施しました。

③ 院内学級

よこはま動物園では、闘病中の児童・生徒たちを対象に、病院内の特別支援学級に職員が出張し、専用のゴーグルを使用してバーチャルリアリティー（VR）で動物園を体験してもらう出前授業を実施しました。

④ その他の教育プログラム

一般来園者を対象として、以下の教育プログラムを実施しました。

<三園>

プログラム名	概要	実施日
動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・とっておきタイム（ズーラシア） ・お食事タイム（野毛山動物園） ・わくわくタイム（金沢動物園） 等 	通年

<よこはま>

プログラム名	概要	実施日
ガイドツアー	動物のエサを準備する台所等を見学するガイドツアーのほか、園内を見学しながら動物の解説を聞く特別な園内案内（ウォーキングツアー）を実施	通年
ズーラシアどうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけるワークショップや講義（ズーラシア教室）を実施	通年
アフリカのサバンナでの体験活動	動物のふれあいを中心とした体験活動を実施（バードショー、ピグミーゴートとのふれあい）を実施	通年

<野毛山>

プログラム名	概要	実施日
ガイドツアー	動物のエサを準備する台所等を見学するガイドツアー、動物病院を見学しながら解説を聞くガイドツアーを実施	通年

<金沢>

プログラム名	概要	実施日
ののはな教室	園内の自然をテーマにした季節の植物案内やクラフトの製作等を行う教室を実施（年 16 回）	通年

(5) 自主事業等の取組

三園の個性を發揮し、三園それぞれに行ってみたいと感じていただけるような企画を展開しました。

① 教育活動

よこはま動物園は『動物達が暮らす生息環境の中で世界の「自然」と「文化」を体感!』、野毛山動物園は『都会の中の憩いの空間で「動物」と「自然」を身近に体感!』、金沢動物園は『豊かな自然に囲まれて「森」と「動物」と「エコ」を体感!』を念頭に置き、事業を実施しました。また、よこはま動物園では、開園20周年を記念した企画展を実施しました。

【平成30年度 教育活動 各園の主な取組】

<三園>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
一日飼育体験	動物舎の清掃やエサ作り等、飼育作業の体験プログラムを実施	6月2、3日、7月25～28日(よこ) 7月25～27日、12月2、9日(野) 7月21、24、25日(金)	160(よこ) 78(野) 64(金)
子育て支援拠点へ出張講座	近隣の子育て支援拠点に出張して動物の子育て等に関する講座を実施	通年	-

<よこはま>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
大うんち展	動物の糞をテーマにした、動物の食性や消化の仕組み等を学ぶ企画展を実施	3月7日～6月4日	-
アカアシドゥクラングール来園20周年企画展	アカアシドゥクラングールの来園20周年を記念し、これまでの歴史や野生の環境を紹介するパネルを展示	3月21日～9月3日	-
海の生き物SOS展	海洋ごみの現状と野生動物への影響をパネルや写真で解説	6月5日～9月4日	-
ズーラシアアドベンチャー	小学1～3年生を対象に、クイズやゲームを取り入れながら動物について楽しく学べる企画を実施	7月22、23日	32
子ども写真教室	プロのカメラマン指導の下、園内の動物の写真撮影	8月2日	17
REALBONES展	魚から哺乳類まで様々な動物の骨のパネルと実物を展示	9月5日～12月3日	-
ズーラシアスクール	小学4～6年生を対象に、連続講座を通して、動物や人、それらを取り巻く環境について考える総合力を養うことを目的とした企画を実施	9月～3月	188

干支展	干支の動物や干支に関連する動物園の動物をパネルで紹介	12月4日～3月5日	-
きこりになろう	茅ヶ崎公園、こども自然公園と連携し、里山保全の講義の後、間伐作業体験と間伐した枝を動物へ給与する給餌体験を実施	3月2、9日	97
開園20周年記念特別企画展	開園20周年をテーマとした企画展を実施	3月20日～9月2日	-

<野毛山>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
動物たちのSOS展	絶滅の危機に瀕する野生動物の写真を展示するほか、保護活動の事例等を紹介	3月1日～31日	75,827
野毛山動物園セミナー2019	「横浜から小笠原1,000kmの旅」をテーマに講演会を実施	2月24日	52

<金沢>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
夜の身近な生きもの館展	ホテル等、夜に活動する生きもの特別展示	6月23日～7月8日	6,702
むし・虫・カブトムシ！展	世界のカブトムシ・クワガタや身近な昆虫の生体展示と、巨大昆虫オブジェ等の美術品の展示	7月14日～8月26日	32,009
アニマルアートコラボ展 vol. 9	多摩美術大学彫刻学科との協働および公募によるアート作品の展示	10月6日～11月11日	43,266
ZOO to WILD セミナー「ニホンイノシシ～現在、そして未来～」	野生ニホンイノシシの専門家による講演とニホンイノシシの飼育員による飼育下個体の観察会	1月13日	33

② ふれあい体験

よこはま動物園では、自主事業として、以下のふれあい体験を実施しました。

場所	プログラム名	概要	実施日
ばかばか広場	ひき馬体験	ばかばか広場でのひき馬体験	通年
	自然体験林でひき馬体験	園内の自然体験林の中での乗馬体験	通年
	馬の飼育係になってみよう	馬の餌の準備等飼育係の体験	通年
	馬にごはんをあげよう	馬の給餌体験	通年
	小動物ふれあい	モルモット、パンダマウスのふれあい体験	通年
アフリカのサバンナ	ラクダライド	ラクダに乗る体験	通年
	ピグミーゴートとのふれあい	ピグミーゴートとのふれあい体験	通年
	ライオンへの給餌体験	トングを使ったライオンへの給餌体験	適宜

③ イベント

よこはま動物園では、平成 31 年 4 月 24 日に迎える開園 20 周年を記念し、記念の年間パスポートの販売を開始しました。イベントでは、動物の人気投票、20 組限定の特別なツアーへの参加募集等を実施したほか、入園口等に 20 周年記念の装飾を行いました。また、謎解きイベントや「ズーラシア ネコフェス！」を新たに実施したほか、春の「ズーラシアガーデンパーティー」では、子ども向けのイベントの強化として、どうぶつの絵本をテーマに「ぐるんぱのようちえん」等を取り上げました。

野毛山動物園では、毎年恒例の「動物感謝祭」、「インドライオン『ラージャー』の誕生日会」、「ナイトのげやま 夕涼みガーデンライブ」を実施したほか、昨年度実施した、園内各所をめぐりながら謎解きを行う「のげミッションラリー トレジャーハント」および職員がお客様の前で動物のエサづくりを実演する「飼育係のエサづくりライブ」が好評であったことから、今年度も引き続き実施しました。

金沢動物園では、年間を通して金沢区制 70 周年記念事業とコラボするとともに、新たに、ナイト Zoo におけるプロジェクションマッピングや、お正月遊びイベントを実施しました。また、「かなざわバレンタイン」では、フェアトレードチョコの販売や、認定 NPO 法人トラ・ゾウ保護基金と連携し、野生動物についてのガイドを実施しました。

各園でのイベント実施実績は以下のとおりです。

【平成 30 年度 イベント実施実績】

<三園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
七夕まつり	園内に七夕の装飾を設置するとともに関連イベントを実施	6月27日～ 7月8日	19,320 (よこ) 11,323 (野) 4,495 (金)
クールビZOOキャンペーン	ドライミストや夜間開園等、真夏の動物園を涼しく過ごせるイベントを実施	7月1日～ 9月30日	233,253 (よこ) 111,364 (野) 57,745 (金)
よこはま夜の動物園	夜の動物たちの行動を来園者に知ってもらうため、園内をライトアップして夜間開園し、園内草食やライブ等も併せて実施	8月土日	55,680 (よこ) 16,747 (野) 13,189 (金)
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもとその家族を夜の動物園へ招待するイベントを実施	9月1日	2,543 (よこ) 138 (野) 198 (金)
ハロウィンイベント	季節のイベントとしてハロウィンの雰囲気を楽しめるよう、ハロウィンをテーマにした園内装飾を実施	10月1日～ 31日	120,634 (よこ) 74,032 (野) 35,076 (金)
クリスマスイベント	各園でイルミネーションの設置およびクリスマス装飾を実施	11月14日～ 12月24日	98,231 (よこ) 59,554 (野) 26,750 (金)

お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾。よこはま動物園では、動物へのお年玉としてのエサやり、動物ガイドや各種催物を実施。金沢動物園ではお正月遊び大会を実施。	11月19日～ 1月6日	131,431（よこ） 66,492（野） 33,827（金）
---------	---	-----------------	---------------------------------------

<よこはま動物園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーラシアガーデンパーティー（新規）	イースターをテーマとした装飾と飲食ブースを設置したガーデンパーティーを実施	3月24日～ 4月4日	80,059
ズーラシア夜市	アカアシドゥックラングール来園20周年を記念して、ベトナムをテーマにイルミネーションや装飾、飲食ブースを設置したイベントを実施	8月土日	86,577
ズーラシア ネコフェス！	ネコ科に着目してグッズ出店やネコ科動物のガイドや紹介、講演会を実施	9月15～ 17・22～24日	57,134
秋のふれあい動物園	期間限定で、動物園では飼育されていない動物の展示や触れ合いコーナー等を設置	10月20日～ 11月25日の 土日祝	106,099
わくわく裏側ウォッチング	動物の寝室や調理室の見学や動物を間近に観察できるバックヤードツアー	12月～2月 の日曜	496

<野毛山動物園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
ナイトのげやま 夕涼み ガーデンライブ	夜間開園時にひだまり広場にて音楽演奏を実施	8月土曜、 8月12日	11,800
動物感謝祭	三園の動物たちの誕生・長寿・死亡に関するパネル展や献花式を実施	9月23日	7,364
飼育係のエサづくりライブ	「食欲の秋」にちなんで、動物のエサにスポットを当て、飼育員がエサを作る様子を実演しながら解説	11月11・18 日	9,997
のげミッションラリー「トレジャーハント」	ラリーシートを持って動物園内をまわり、動物の形態や生態を楽しみながら学べるイベント	1月29日～3 月3日	478
インドライオン「ラージャー」の誕生日会	特別なエサのプレゼント等、「ラージャー」の誕生日会を実施	2月11日	1,602

<金沢動物園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
環境月間イベント「Zooレンジャーカードラリー」	環境月間イベントとして、絶滅の危機に瀕している動物たちのガイドを聞いて学習するラリー	6月の土日	924
シルバーウィークスペシャル	地域で活躍する太極拳やコーラス等高齢者団体のステージ、資源循環局のワークショップ	9月15日～ 17日	6,193
どうぶつえんの文化祭	環境活動のPRや体験を地域団体やNGO、学校等と連携して実施	10月6日～ 8日	7,345

特別開園「ZOOから初日の出！」	元日早朝に開園し、初日の出の鑑賞場所を提供	1月1日	622
かなざわバレンタイン「フェアトレードdeチョコまつり」	チョコを中心としたフェアトレード商品の販売や環境活動団体とコラボしたガイドを通じて、野生動物の環境について知る機会を提供。	2月9日～11日	2,851
金沢動物園 春まつり	地域や団体等と連携したイベントを実施	3月16・17日	6,370

④ その他の取組

ア メンバーシップの拡充

(ア) アニマルペアレント

より多くの方にお申込みいただける魅力ある制度となるよう、会員の方向けに、動物に関する情報や支援金を使った取組をお知らせする「アニマルペアレントニュース」を年4回発行・送付するほか、「アニマルペアレント感謝の日」として、会員限定のイベントを各園で2回ずつ行いました。アニマルペアレント制度による収入については、お申し込みいただいた皆様の思いをより活かすことができるよう、動物の飼育環境の改善に活用しました。

【平成30年度 アニマルペアレント入会実績】

園名	口数	金額
よこはま動物園	484	2,422,532円
野毛山動物園	390	1,950,000円
金沢動物園	204	1,020,000円
計	1,078	5,392,532円

【平成30年度 アニマルペアレント収入 主な活用事例】

園名	内容
よこはま動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・セスジキノボリカンガルー舎用大型扇風機の購入 ・トラ等ネコ科動物に与える遊具の購入 ・インドゾウ、クロサイ等の展示場に導入する砂の購入
野毛山動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・キリン舎用動物観察カメラの設置 ・ライオン舎寝台の更新
金沢動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・インドゾウ用自動給餌器の設置 ・キリン舎扉改修

(イ) 横浜市動物園友の会

会員の方々と、動物を通して動物の愛護や親睦を図りながら、横浜市立動物園のご支援をいただきました。

【平成 30 年度 横浜市動物園友の会 会員数】

会員種別	会員数（家族会員は組数）
家族会員	203
大人会員	184
小人会員	5
賛助会員	7
計	399

イ 野毛山動物園募金の活用

入園料収入のない野毛山動物園においては、園内に募金箱を設置して来園者からの寄附を募り、その収入を園内施設の改修等、来園者の利便性向上に資する取組に活用しました。

【平成 30 年度 野毛山動物園募金 主な活用事例】

項目	概要
市電改修	老朽化し、雨漏りが見られたため、改修を実施しました。
園内看板更新	園内入口付近にある教育普及用看板について、老朽化が見られたため、FRP製の看板に更新を行いました。

(6) 自己評価

進行管理や職員の目標管理によって、業務改善や業務目標の達成を推進しました。さらに、利用者・専門家等、外部からの評価を広く収集し、進行管理と併せてPDCAマネジメントサイクルに組み込み、業務改善およびサービスの向上を図りました。

① 組織目標シートによる事業進行管理

各事業を効率的に達成するため、管理運営実施計画書の事業を分類し、スケジュールを決定しました。この組織目標シートに基づき、半期ごとに事業全体を振り返るとともに、毎月1回入園者数や各種収入等の実績を確認し、事業の進捗を管理しました。

② 職員の自己評価

職員個人について、年間目標の設定と進捗管理を行うことにより、業務改善や業務目標の達成を推進しました。

③ 利用者ニーズの把握、意見の収集

ア 利用者調査アンケート

11月15日～18日のうち、4日間（平日2日間、土日2日間）いずれも13時～16時に実施しました。（よこはま動物園 600件、野毛山動物園 506件、金沢動物園 404件、三園計 1,510件）

イ イベント参加者アンケート

イベント参加者を対象に、以下の通りアンケートを実施しました。ホームページの「お客様の声ページ」を中心に、ご意見・ご質問・励まし等をいただきました。いただいたご意見には迅速な回答に努めるとともに、事業に反映させました。

	イベント名	実施日	人数
よこはま	ナイトズーラシア	8月12日、19日	393
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月1日	176
野毛山	大人のための一日飼育アンケート	12月2日、9日	27
	アニペア感謝の日アンケート	10月14日、2月17日	69
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月1日	41
	友の会例会	7月8日、1月13日	16
	ナイトのげやま	8月11日、12日	300
金沢	一日飼育体験	7月21日、24日、25日	64
	ナイト金沢イベントアンケート	8月11日、12日	318
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月2日	19
	ZOO to WILD セミナー	1月13日	33

【平成30年度 広聴件数（ホームページ等による要望等）】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ ご要望	質問・ 問合せ	お礼・ 励まし	その他
よこはま動物園	67	2	62	1	2	0
野毛山動物園	15	1	13	0	0	1
金沢動物園	14	1	10	0	2	1
計	96	4	85	1	4	2

3 動物の飼育管理

(1) 動物の飼育計画

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で、最新の知見が盛り込まれた海外の飼育計画に準拠して、より効果的な計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案し、計画的な保全に努めました。

(2) 動物舎および展示場の管理

動物舎および展示場の管理は、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理しました。

大規模な展示場改善として、よこはま動物園に遺贈された寄附金を活用し、ボルネオオランウータン展示場の改修を行いました。動物の安全性・快適性の向上を図るため、老朽化した展示場内のやぐらを撤去し、新しいやぐらおよび暖房器具を設置したことに加え、来園者が動物を観察できるスポットを増やすため、既存の木堀への観覧用ガラス窓の設置、ガラス窓周辺の舗装、ベンチ移設、植栽整備等を実施しました。

【平成 30 年度 主な展示場改善】

園名	概要
よこはま動物園	ボルネオオランウータン展示場の改修
	アカアシドゥクラングル展示場の老朽化した止まり木の交換
	ボウシテナガザル展示場の老朽化した止まり木の交換
野毛山動物園	キリン展示場植栽防護柵設置
	インドライオン舎展示場寝台改修
	水禽舎目隠しシート改修
	なかよし広場小動物展示箱交換
	なかよし広場っこガーデン改修
	大池堰改修他
金沢動物園	万騎が原ちびっこ動物園改修：1 期工事
	イノシシの展示場整備（新規）
	夏季企画展でのヘイケボタルの展示（新規）

(3) 動物の繁殖計画

① 動物の生態を踏まえた繁殖計画

重点保全種の繁殖については以下のとおり取り組みました。また、繁殖に取り組む準備を進める種については、国内、海外からの情報収集等に取り組みました。

【平成 30 年度 主な繁殖動物】

よこはま動物園		野毛山動物園		金沢動物園	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
アカカンガルー	1	オグロワラビー	1	オオカンガルー	13
ニホンザル	1	アカエリマキキツネザル	4	オオツノヒツジ	2
フランソワルトン	2	フサオマキザル	2	スーチョワンバーラル	2
テングザル	1	クロツラヘラサギ	5		
ミーアキャット	4	ルリゴシボタンインコ	2		
ケープハイラックス	6	インドホシガメ	5		
ゴールドエンターキン	1	キバラクモノスガメ	2		
フンボルトペンギン	4				
キアシセグロカモメ	2				
ベトナムキジ (コサンケイ)	2				
オウギバト	2				
11 種 26 点		7 種 21 点		3 種 17 点	

② 国内外において当団体が担う、保護・繁殖の役割

当協会が多くの実績や技術を有する種について、率先して国内外の動物園との連携を図りました。また、(公社)日本動物園水族館協会の役割を担うことで、保護・繁殖に携わりました。

【平成 30 年度 (公社) 日本動物園水族館協会内役割】

役割	動物種
類別調整者	両生類爬虫類 (副類別調整者)、食肉類 (副類別調整者)
種別計画管理者	マレーバク、ウンピョウ、インドサイ、シロテテナガザル、ユーラシアカワウソ、ブラジルバク
個体群管理者	ヤブイヌ、オオカンガルー、アラビアオリックス、ミゾゴイ、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
専門技術員	ツシマヤマネコ、アジアゾウ、コアラ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、スマトラトラ、フランソワルトン
生息域外保全検討作業部会	ミヤコカナヘビ
繁殖表彰審査委員	爬虫類

(4) 動物の獣医学的衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察および専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。

健康診断や体重測定、その他採食、行動、被毛の状態等を常に細かく観察し、飼育担当者と獣医師が連携して、健康管理を行いました。感染源を持ち込まない衛生管理を徹底し、確実な検疫等を実施して、希少な野生動物を健康に飼育しました。高病原性鳥インフルエンザ防疫対応策としては、横浜市の通知に基づき、防疫対応策のレベルに合わせた鳥類の非展示等を行ったほか、鳥インフルエンザマニュアルを一部改正し、国内での発生状況に迅速に対応できる体制を整えました。

このほか、三園すべての獣医師が、インターネットを通じて最先端の獣医学的知見を共有することのできるサービスである VMN (Veterinary Medical Network) を利用することのできる環境を整え、継続的に医療技術の向上を図っています。

(5) 野生動物の保護

① 傷病鳥獣保護

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取り組みを行うとともに、園内ガイド等で野生動物の現状を紹介しました。

【平成 30 年度 傷病鳥獣保護点数】

園名	点数
よこはま動物園	229 点
野毛山動物園	229 点
金沢動物園	382 点
計	840 点

② 国内外における保全活動

国内での取組としては、環境省によるツシマヤマネコの保護増殖事業に協力し、繁殖生理、栄養に関するデータ収集を行ないました。また、ミゾゴイ、ミヤコタナゴ、ミナミメダカ(横浜在来個体群)等の保全のため、関係機関と連携して、繁殖・普及活動を行いました。このほか、金沢動物園では、職員がライチョウ会議に出席する等、

ニホンライチョウに関して国内の関係園館および関係機関と研究成果や保全計画に関する情報共有を行いました。

国際的な取組としては、「世界オカピの日」にちなんだ企画を実施する等、オカピに関する教育普及活動に取り組みました。また、テングザルについては、インドネシアの関係者との間で保護協定の更新に向けた協議を進めたほか、支援金の募金活動を行いました。このほか、台北市立動物園とは、覚書に基づき、マレーバク、カワウソ等の動物交換について情報交換を進めるとともに、干支の企画展について相互の公式ホームページで互いの取り組みを紹介する教育普及活動を行いました。

③ 市民への普及活動

野生動物保護についての市民に向けた普及活動として、各園にて講演会等を実施しました。

よこはま動物園では2月に「アフリカ地域における野生生物の保全と人との共存」をテーマにしたシンポジウムを TICAD 連携事業として実施し、この中で、三園が10年間に渡って実施したウガンダ野生生物研究センター（UWEC）への技術支援事業の紹介と実績をまとめた報告書の配布を行いました。野毛山動物園では、2月に「横浜から小笠原へ1,000kmの旅」をテーマにした講演会を、金沢動物園では1月に「ニホンイノシシ～現在、そして未来～」をテーマにした講演会を実施しました。

(2) 調査・研究

調査・研究により得られた成果を積極的に発表し、また市民に情報発信しました。

① 日々の業務の中で積み重ねる調査研究業務

月に1回「各園飼育研究会」を実施して、職員の研究成果の発表を義務化し、その情報共有を行いました。また、公開研究会として「三園合同飼育研究会」や、その他研究会、学会等への発表も実施しました。

【平成30年度 各園飼育研究会実績】

園名	テーマ	件数
よこはま動物園	ツシマヤマネコの食物栄養学的研究	37 件
	チーターおよびウンピョウにおける人工授精の取り組み	
	ドールの導入から同居まで	
	アジアゾウ飼育における床材としてのおが粉の使用について ほか	
野毛山動物園	ホンシュウジカの高齢個体における飼育管理方法について	12 件
	動物病院ガイドツアーの参加者アンケートについて	
	モルモットの飼育箱について	
	キリンの搬入 経過報告 ほか	
金沢動物園	特別支援学校への動物を連れた出張授業の試み	22 件
	オオカンガルーの原虫感染症の予防と対策のまとめ	
	スーチョワンバーラルの2018年生まれ個体の放飼場馴致の経過および2019年の繁殖計画について	
	シロテテナガザルの行動調査 ほか	
	計	71 件

【平成 30 年度 合同飼育研究会実績】

園名	テーマ	件数
よこはま動物園	ケープハイラックスの繁殖	1 件
野毛山動物園	私と横浜の動物園～22 年のあゆみ～	1 件
金沢動物園	3 次元レーザー計測機を用いたキリン、クロサイおよびオカピの体型測定	2 件
	飼育下コアラにおける尿中ステロイドホルモン濃度測定による生理評価	
繁殖センター	ミゾゴイの年齢に伴う羽衣の変化	1 件
計		5 件

② 横浜市繁殖センター、大学等との共同研究

繁殖センターや大学、外部研究機関等とともに積極的に共同研究活動を行いました。

【平成 30 年度 大学、企業等 共同研究件数】

園名	共同相手先	テーマ	件数
よこはま動物園	日本大学	飼育下ホッキョクグマの季節に伴う行動量変化に関する研究	19 件
	京都大学	飼育チンパンジーにおける授乳をめぐる母子間の交渉	
	日本獣医生命科学大学	チーターの栄養管理に関する研究	
	JC アライアンス㈱	インドゾウの活動量の測定に関する研究 ほか	
野毛山動物園	甲南女子大学	飼育下霊長類における色覚調査について	7 件
	東京農工大学	傷病野生動物の二次治療に関する連携研究	
	日本歯科大学	各種哺乳類の舌粘膜における舌乳頭の結合織芯の立体構造に関する形態学的研究	
	東京農業大学	ホンドタヌキの集団遺伝学的研究に関する調査	
	岐阜大学	キリンの性ステロイドホルモンの測定について	
	日本大学	鳥類における抗マラリア薬の血中動態に関する研究	
	Cardiff University Durrell Wildlife Conservation Trust	飼育下ヘサキリクガメの血縁関係調査	
金沢動物園	日本大学	飼育下オカピの施設間移動が個体に与える影響に関する研究	19 件
	京都大学	飼育下コアラにおける生理的变化に伴う尿中コルチゾールと性ホルモンの濃度動態の関係について	
	札幌市立大学	わくわく動物園ワークショップの研究 気持ち温度計を用いた主観評価にもとづく体験学習プログラムの評価分析	
	鶴見大学	金沢動物園におけるヤマアカガエルの産卵数の確認調査 ほか	
計			45 件

【平成 30 年度 繁殖センター等 共同研究件数】

園名	共同相手先	テーマ	件数
よこはま動物園	繁殖センター 岐阜大学	セスジキノボリカンガルーの糞中性ステロイドホルモンに関する研究	11 件
		ウンピョウ雌個体の発情期の同定	
		ゴールデンターキンの繁殖生理に関する研究	
		ホッキョクグマの繁殖生理に関する研究 ほか	
野毛山動物園	繁殖センター	キリンの性ステロイドホルモンの測定	3 件
		飼育下ヘサキリクガメの血縁関係調査	
		ホンドテンの繁殖生理に関する研究	
金沢動物園	繁殖センター 岐阜大学	インドゾウ メスの繁殖生理に関する研究	2 件
		糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたインドサイの性周期のモニタリング	
計			16 件

③ 研究成果の情報発信および動物園活動への応用

(公社) 日本動物園水族館協会主催の会議、国内外の学会や研究会で研究成果を積極的に発表しました。研究成果で主だったものは、ホームページや会報誌等に掲載し、市民の皆様へ情報発信を行いました。また、調査研究により得られた成果は、飼育、繁殖、予防医学等に役立てました。

【平成 30 年度 投稿記事・論文発表回数】

園名	発表先	テーマ	件数
野毛山動物園	神奈川自然誌資料 (40): 89 - 93	2017 年 10 月に相次いで横浜市立野毛山動物園に保護された 3 種の海鳥	1 件
金沢動物園	The Journal of veterinary medical science 2018 80(10): 1528-1533	Evaluation of somatotype in the reticulated giraffe (<i>Giraffa camelopardalis reticulata</i>) using three-dimensional laser measurement	5 件
	The Journal of veterinary medical science 2018 80(12): 1834-1838	Novel treatment for chronic pododermatitis in an Indian elephant (<i>Elephas maximus indicus</i>) with Mohs' paste ほか	
計			6 件

【平成 30 年度 各種研究会における口頭発表回数】

園名	発表先	テーマ	件数
よこはま動物園	第 66 回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会	テングザルの腎結石対策を目的とした飼料分析と給与飼料内容の見直しについて	10 件
	第 12 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	混合展示～チーターを中心とした馴染～	
	第 59 回日本動物園水族館教育研究会	チンパンジーの森と SDGs (持続可能な開発目標) ほか	

野毛山 動物園	キリン研究会	キリンの人工哺育を振り返る	6 件
	神奈川県博物館協会研修会	キリンはどこからやってきた？—飼育係は生き物と向き合う学芸員—	
	平成 30 年度 環境創造局業務研究・改善事例発表会	新しく見つかった動物園の歴史的資料の紹介	
	第 12 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	チンパンジーの仔の成長に伴う群れの変化について	
	第 13 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	インドセタカガメとハミルトンガメの温度依存型性決定 (TSD) について	
	第 14 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	ハヤブサの趾瘤症に対して使用した包帯法について	
金沢 動物園	第 12 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	飼育頭数増加に伴うオオツノヒツジの獣舎移動に関する報告	10 件
	平成 30 年度環境創造局業務研究・改善事例発表会	身近な生きもの館における横浜保全種の飼育繁殖について (続報)	
	第 7 回キリン研究会	初乳量が不足した人工哺育アミメキリンで認められた症状について	
	第 66 回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会	飼育下コアラにおける尿中ステロイドホルモン濃度測定による生理評価 ほか	
計			26 件

【平成 30 年度 講師、ポスター発表等回数】

園名	発表先	テーマ	件数
よこはま 動物園	第 28 回ゾウ会議	アジアゾウの蹄の治療経過 (ポスター発表)	4 件
	2018 IZE Conference	ZOORASIA SCHOOL -Think by yourself for the future about relationship with the environment- (ポスター発表) ほか	
野毛山 動物園	麻布大学	動物園での動物の飼育 (講師)	4 件
	鶴見大学歯学部	動物の形態・歯について (講師)	
	2018 年度動物園水族館大学シンポジウム	クロツラヘラサギの営巣から巣立ちまで (ポスター発表)	
	第 66 回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会	クロツラヘラサギの自然育雛事例からの考察 (ポスター発表) ほか	
金沢 動物園	飼育野生動物栄養研究会	リクガメの餌の組み立て方 (講師)	5 件
	2018 年度動物園水族館大学シンポジウム「悩める動物園・水族館」	動物園動物における炎症性マーカーとしての血清アミロイド A 蛋白 (SAA) の臨床的有用性の検討について (ポスター発表) ほか	
計			13 件

【平成 30 年度 研究会実施・参加実績】

研究会・会議名	実施日
各園飼育研究会	各園各月 1 回
合同飼育研究会（一般公開・金沢動物園）	3 月 23 日
日本動物園水族館協会 関東東北ブロック動物園水族館技術者研究会	6 月 28 日、9 月 28 日、1 月 30 日

④ （公社）日本動物園水族館協会における役割

（公社）日本動物園水族館協会の教育普及委員会において、金沢動物園から理事 1 名および学術研究部員 1 名、よこはま動物園から普及啓発部員 1 名が選任され、研究・検討に携わりました。

4 施設等の維持管理計画

(1) 施設管理の基本事項

劣化状況を的確に把握し、維持管理を計画的に行うことで施設・設備の長寿命化を図るほか、設備更新では省エネ・省資源設備への更新を進めました。

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

① 三園が連携した維持管理体制を確立

「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。

② 維持管理計画（修繕計画含む）に基づく計画的な業務

各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備

公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。

④ コスト削減を可能にする維持管理

安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

【平成 30 年度 修繕作業実施実績】

園 名	件 数
よこはま動物園	182 件
野毛山動物園	73 件
金沢動物園	98 件
計	353 件

(2) 施設および設備の維持管理

動物舎等の施設および設備、管理棟、管理詰所等の施設および設備、レストラン、売店棟の施設および設備、その他設備の維持管理（衛生的で快適な施設利用の実現）を行いました。また、各園の施設年間作業計画を作成、実施しました。

(3) 園地および遊具等の維持管理

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行い、また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行い、各園の魅力を高めました。

① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアルや植物カルテにより高水準な維持管理を確保しました。また、「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。

② 園地の維持管理（快適な園地環境の提供）

清掃業務を適切に実施しました。また、池、園路等を適正管理しました。老朽化した施設の修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕・充実・強化を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミス防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。

なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④ 遊具施設やその他の施設の維持管理

ア 遊具の維持管理

遊具の維持管理は、安全面に十分配慮し、定期的に点検を実施しました。

イ その他の施設の維持管理

「安全性」と「快適性」を特に重視して、維持管理を実施しました。「公園施設点検チェックシート」を使用し、年4回（6・9・12・3月）の施設点検を実施して、結果を市に報告しました。

(4) 施設および設備等の安全対策

① 施設および設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のための公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

【平成30年度 点検実施実績】

点検名（実施日）
日常点検（毎開園日）
定期点検（各設備の法定点検日）
臨時点検・緊急点検（適宜）

5 管理運営経費実績

(1) 算定の考え方

以下の通り、管理運営経費の削減と収入の増加に取り組みました。

① 収入増加の取組

各種イベント、広報活動により、積極的に集客対策に取り組みました（P. 8 参照）。

既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は9社、野毛山動物園は2社、金沢動物園は1社と協賛契約を締結しました。

また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度（P. 27 参照）や野毛山動物園募金（P. 28 参照）を活用しました。

② 経費削減の取組

三園一体での共同発注を行う等、スケールメリットを活かし取り組みました。

【平成 30 年度 主な三園共同発注】

園地管理業務	動物飼料（計 14 種）	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フロアーマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

④ 収益還元

収入増加、経費節減の取り組みにより得られた収益は、収益額に応じて、動物園・公園の一層の魅力アップに充てることで市民に還元しました。

【平成 30 年度 主な収益還元内容】

園名	内容
よこはま動物園	にれのき広場ベンチ修繕
	ころこロッジ等テーブル修繕
	ジャングルカフェ等テーブルセット更新
	一次開園区域トイレベビーシート等更新
野毛山動物園	なかよし広場案内モニター設置
	園内 PR 看板の FRP 化
	管理事務所入りロスロープの落下防止網の設置
金沢動物園	トイレ洋式化・ウォシュレット化、オストメイト用設備設置
	わくわく広場芝生設置
	アメリカ区休憩所・授乳室改修
	こども広場 斜面遊具改修
	「文殊ザクラ」植樹、サトザクラ「一葉」補植

⑤ 委託

直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託を実施しました。

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	上郷・森の家事業	共通	小計	経営事業			
管理費								34,006,583		34,006,583
役員報酬								10,025,075		10,025,075
役員賞与								1,641,500		1,641,500
給料手当								7,901,002		7,901,002
賞与引当金繰入額								685,900		685,900
貸金								144,295		144,295
派遣者貸金								273,678		273,678
退職給付費用								442,465		442,465
法定福利費								1,639,367		1,639,367
福利厚生費								201,183		201,183
教育研修費								132,181		132,181
会議費								5,908		5,908
旅費交通費								72,226		72,226
通信運搬費								558,822		558,822
減価償却費								146,990		146,990
公共施設負担金償却費								0		0
消耗什器備品費								0		0
指定管理対象財産購入費								0		0
消耗品費								1,220,130		1,220,130
修繕費								0		0
少額改良費								0		0
印刷製本費								265,632		265,632
燃料費								1,571		1,571
光熱水料費								261,880		261,880
賃借料								1,616,270		1,616,270
管理許可使用料								0		0
保険料								599		599
諸謝金								3,394,983		3,394,983
交際費								428,543		428,543
渉外費								401,995		401,995
諸会費								418,880		418,880
租税公課								86,677		86,677
支払負担金								163,000		163,000
支払助成金								594,000		594,000
支払寄付金								0		0
委託費								1,060,819		1,060,819
手数料								125,387		125,387
広告費								95,625		95,625
仕入代金								0		0
保証料								0		0
雑費								0		0
経常費用計	98,930,170	1,511,731,388	3,048,388,786	193,104,636	0	4,852,154,980	1,269,490,410	34,006,583	0	6,155,651,973
評価損益等調整前当期経常増減額	△68,407,737	△162,046,861	△183,590,563	△18,404,184	70,500	△432,378,845	325,481,900	△30,968,683	0	△137,865,628
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	4,272,825	0	0	0	0	4,272,825	0	△1,102,000	0	3,170,825
評価損益等計	4,272,825	0	0	0	0	4,272,825	0	△1,102,000	0	3,170,825
当期経常増減額	△64,134,912	△162,046,861	△183,590,563	△18,404,184	70,500	△428,106,020	325,481,900	△32,070,683	0	△134,694,803
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受増益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金振替額	0	0	0	2,330,284	0	2,330,284	0	0	0	2,330,284
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金戻入益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	2,330,284	0	2,330,284	0	0	0	2,330,284
(2) 経常外費用										
固定資産除却損	0	114,572	0	2,992,691	0	3,107,263	7,896,854	0	0	11,004,117
支払寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	114,572	0	2,992,691	0	3,107,263	7,896,854	0	0	11,004,117
当期経常外増減額	0	△114,572	0	△662,407	0	△776,979	△7,896,854	0	0	△8,673,833
他会計振替額	0	0	0	0	310,532,852	310,532,852	△345,362,276	34,829,424	0	0
うち収益の繰入					310,532,852	310,532,852	△310,532,852	0	0	0
うち資産の移転					0	0	△34,829,424	34,829,424	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△64,134,912	△162,161,433	△183,590,563	△19,066,591	310,603,352	△118,350,147	△27,777,230	2,758,741	0	△143,368,636
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	347,000	0	0	347,000
過年度法人税等調整額	0	0	0	0	0	0	△968,100	0	0	△968,100
当期一般正味財産増減額	△64,134,912	△162,161,433	△183,590,563	△19,066,591	310,603,352	△118,350,147	△27,156,130	2,758,741	0	△142,747,536
一般正味財産期首残高						443,161,474	2,747,737,441	2,808,000	0	3,193,706,915
一般正味財産期末残高						324,811,327	2,720,581,311	5,566,741	0	3,050,959,379
II 指定正味財産増減の部										
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取横浜市補助金	0	0	0	85,000,000	0	85,000,000	0	0	0	85,000,000
受取寄付金	13,612,682	0	0	0	0	13,612,682	0	0	0	13,612,682
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	6,478,000	0	0	0	0	6,478,000	0	0	0	6,478,000
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	△29,083,452	△87,330,284	0	△116,413,736	△187,567	0	0	△116,601,303
当期指定正味財産増減額	20,090,682	0	△29,083,452	△87,330,284	0	△11,323,054	△187,567	0	0	△11,510,621
指定正味財産期首残高						2,642,965,792	526,317	0	0	2,643,492,109
指定正味財産期末残高						2,631,642,738	338,750	0	0	2,631,981,488
III 正味財産期末残高						2,956,454,065	2,720,920,061	5,566,741	0	5,682,940,867